



ひたふじ

第53号
発行所
菅田敏幸後援会
日田市諸留町
0973-
22-4577
FAX
22-4598
印刷所 カワハラ
企画日田市水目町
315-4
22-1241

月出山・堂尾・伏木小学校統廃合

3校とも静かに歴史に幕を引く

月出山小学校では、3月5日に閉校記念式典がありました。歴代の卒業生や学校関係者ら370名が出席し、93年の歴史を振り返りました。宝珠山



校長が「誇りある月出山の伝統をしっかりと引き継いで欲しい」と挨拶をしました。

93年の歴史 閉校式に370名・・月出山小学校

式典では、児童全員で同校自慢の竹太鼓を披露したり、戦前から現在までの写真をスライドで流して、母校の思い出話に花を咲かせていました。月出山小学校は、珠算・一輪車や竹太鼓を授業に取り入れるなど、ユニークな取り組みで注目を集めた学校でした。

堂尾小学校では、3月12日の雨の中、地区民をはじめ関係者260名が出席し、閉校式が開催されました。児童数9人、130年の歴史に幕を閉じることになりました。桑野校長が「堂尾小学校は



閉校されるが、児童はこれから堂尾小学校から魂を引き継いで下さいと挨拶をしました。

130年の歴史 閉校式に260名・・・堂尾小学校

児童の代表が「私達、9名は堂尾小学校で学んだことは忘れないし、これからも頑張つて行きます」と最後の挨拶に大きな拍手が起きました。参加者は、いつまでも名残惜しく堂尾小学校の想い出を語り合っていました。

伏木小学校では、3月26日の雨の中、180名の関係者が出席し、閉校式が開催されました。伏木小学校は児童数7人、128年の歴史に静かに幕を閉じました。



土居校長が「豊かな自然や住民との触れ合いの中で感性が磨かれるという、小規模校ならではの教育が実践されてきた」と挨拶をしました。

128年の歴史と伝統 涙の閉校式・・・伏木小学校

卒業生を代表して2人の方が思い出を語りました。児童7人が同校の歴史と一年間の活動を紹介し、多くの参加者が涙を流し、閉校を惜しみました。

バイオマス資源化センター稼働始まる

生ごみを有効活用し、発電につなげるバイオマス資源化センターが4月から本格稼働しました。

ごみの減量化、循環型社会への一歩となりますが、施設を稼働させるには細かな分別が不可欠で、市民の協力がかぎを握っています。



計画では、市内で一日あたり発生する生ごみ（家庭、事業系）24トンに、豚ぶん尿50トン、農業集落の排水に含まれる汚泥6トンを加え、施設で約1カ月かけて発酵させ、発生したメタンガスを燃焼させて発電します。

議会では、安全面の強化を図ること。管理運営費の増加に繋がらないような施策を考慮すること。豚ぶん尿や生ゴミと



いった臭いのあるものを処理するので、悪臭の発生防止には、万全の体制で臨むこと。市民及び事業系排出者への指導を徹底すること。交通安全対策を十分に図ることなどを要望しました。

新介護保険制度スタート

4月から「予防介護」を重視した新たな介護保険制度がスタートします。

予防重視への転換が最大の柱で、新たに「介護予防サービス」が導入されます。予防に力を入れることで要介護者を減らし、高齢化で膨らんだ介護給付費を抑える狙いがあります。



新制度で「要支援1、2」と認定された軽度の要介護者を対象に、筋力トレーニングや栄養改善指導などのサービスを提供し、重度化を防ぐものです。「地域密着型サービス」も創設し、高齢者が住み慣れた地域で細やかな介護サービスが受けられるよう、生活圏内で福祉施設の普及を図ります。

議会からも、地域包括支援センターの運営に当たって、主任ケアマネジャーと社会福祉士・保健師などとのチームアプローチが重要であり、介護予防を促進し効果をあげるような、職員の意識改革と専門家の養成を充分に図るよう付言しています。



消防団員の公務災害などで追求 菅田議員が一般質問する

3月議会で菅田議員が一般質問をした内容です。

日田の上空を低空飛行について

実態と市民の不安解消について

広告料収入事業について

新たな財源確保について

消防分団の現状について

分団員の実態・市職員の分団員実態について

公務災害・団服支給・身分証明証について

大原運動公園の施設整備について

総合体育館付近の駐車場の拡大確保について

旧日田郡男子寮の跡地利用について

開かれた学校づくりについて

中学校卒業式の実態について

学校内に国旗常時掲揚について

小中学校の学校別のホームページについて



過疎地域自立促進計画変更 松野地域など8地域に辺地計画



平成17年3月22日付けで国から、市全域が過疎地域と指定され、過疎地域自立促進計画が策定され、その計画変更がありました。

今回、新たに8辺地において辺地

総合整備計画を策定しました。（事業名・事業費）

松野（市道下林町野線改良事業・67百万円）

月出山（市道大石峠中尾鹿倉線改良工事・1千万円）

尾当（尾当町公民館建設補助事業・1750万円）

串川（市道銭花五条殿線改良事業・3千万円）

（市道荒平後河内線改良事業・82百万円）

田代・小畑（市道田代線改良事業・183百万円）

川原上野田（市道川原小平線改良事業・105百万円）

袋（市道筏場金ヶ塔線改良事業・8千万円）

淡窓図書館利用時間 午後7時まで延長

市民相談室 開設中

菅田議員は市民相談室を開設しています。市政に対しての要望・疑問・意見など。また、個人的な相談、悩み、結婚問題なども気軽に相談下さい。

秘密厳守で相談を受けます。

自宅電話 0973-22-4577

自宅FAX 050-7546-1882

携帯電話 090-8222-6560

携帯メール hitafuji@ezweb.ne.jp

パソコンEメールも開設しています。

hitafuji@sea.plala.or.jp

菅田敏幸ホームページを開設中

<http://www.hitafuji.com/>



ホームページを一度ご覧になって下さい。

12月議会で霊柩車廃止議案が否決され、旧市内に限られていた利用区域制限を廃止し、市内全域に利用区域を広げるべきであると要望していました。なお、葬斎場使用時間も4月から午後4時まで延長されています。



霊柩車使用全市に拡大

霊柩車の使用が、市民のニーズに対応するため、業務区域を市内全域に拡大することに決定され、使用料金が市内一律8400円になりました。

共働き職員給与で論争！

今回の議会では、大石市長が三月議会に提案しようとした、共働き職員の給料削減条例案について、議員から質問が相次ぎました。

「いくら市民の声があっても、法の下での平等の観点から見て無理がある。共働きに対する差別」などと質問がありました。大石市長は「市財政の改善策として提案を考えた」

また、大石市長は、総務省が地方公務員給与の「国家公務員準拠」を見直し、各地域の民間給与との格差を解消する方針であることを挙げ「給与体系の適正化に努めたい」と人件費削減に意欲を示しました。一部議員からは「財源確保の点からは理解できる」との意見も出ました。



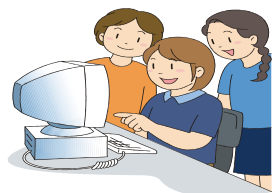
菅田議員のホームページに提言を 市政の動き・話題を毎日更新中

菅田議員は、ホームページを平成15年10月より開設しています。内容は、市議会だより・ものぐさ日記・ギャラリー・議会一般質問報告などがあります。市政の動き、話題、議員の意見・考え方なども載せています。

毎日多くの方から見ていただいております。アクセス数も6万回を超す勢いで皆様から愛読されています。

市民の立場にたって市政の諸問題に

取り組み、市全体を見つめて行動し、『是は是、非は非』で臨んでいます。時には、お叱りの言葉、励ましの言葉を謙虚に受け止めて、毎日議員活動に専念しております。市民の目線で行動し、挑戦を続けていますので市に対して提言がありましたらよろしくお願いします。



『ひたふじ・月出山』の由来

月出山岳（かんとうだけ）は、日田盆地の東方、玖珠盆地とをわける高原台地にそびえる山です。

日田盆地から四方に長くのびた山すそが良く見え、美しい山の姿から別名『ひたふじ』とも呼ばれて、名実ともに日田を代表する秀峰です。東西に三つの山からなり、一番高い所で708mあります。

